



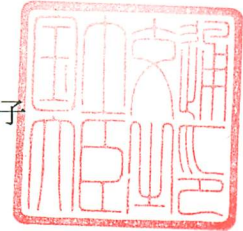
認 定 書

国 住 指 第 5720 号

平成 14 年 5 月 31 日

大建工業株式会社
取締役社長 六車襄二 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令第 108 条の 2（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

NM-9670

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

アクリル樹脂系塗装／水酸化アルミニウムロックウール板

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

認定番号	不燃(個)第11852号	認定年月日：平成8年7月29日
品目名	水酸化アルミニウム・ロックウール成 形板(化粧)	申請者名：大建工業(株) 富山県東礪波郡井波町井波 1-1 TEL(0763)82-5858
商品名	ダイロートン N	工場名：岡山工場 岡山県岡山市海岸通り2-5-8 TEL(086)262-1136

- 耐火四一六号
1. 主たる用途

建築物の壁又は天井
2. 試験機関名

(財)建材試験センター中国試験所 受託番号 5573号-1 5573号-2 5573号-3
3. 製品の形状、寸法等(単位 mm)

① 形状

: 平板及び凹凸板

② 表面の形状

: 平滑及び表面ピン模様

③ 厚さ(mm)、重量(kg/m²)

・全体厚さ

9.0±0.5(平板) 12.0±0.5(平板) 15.0±0.5(平板)

重量 3.7 4.9 6.1

・全体厚さ 12.0±0.5(凹凸板) 15.0±0.5(凹凸板) 12.0±0.5(凹凸板) 15.0±0.5(凹凸板)

重量 ①4.3 ②4.6 ①4.8 ②5.5

④ 大きさ(mm)

: 幅

標準 300 最小 300 最大 900

: 長さ

標準 600 最小 600 最大 2400

(必要に応じての異形寸法も含むものとする。大きさの許容差は±3.0とする)

⑤ 比重(基材部)

: 0.40±0.05

⑥ 含水率(%)

(N/mm²): 3以下

⑦ 曲げ強度

(kg/cm²): 2.0N/mm²以上

4. 防火処理の概要

なし

5. 構成(組成)、断面図

① 表面化粧: 表面塗装

アクリル系エマルジョン塗料 塗布量180g/m²(固)、有機分18g/m²(固)

② 基材

: 水酸化アルミニウム・ロックウール成形板

③ 組成

組成

(重量%)

ロックウール.....70.0

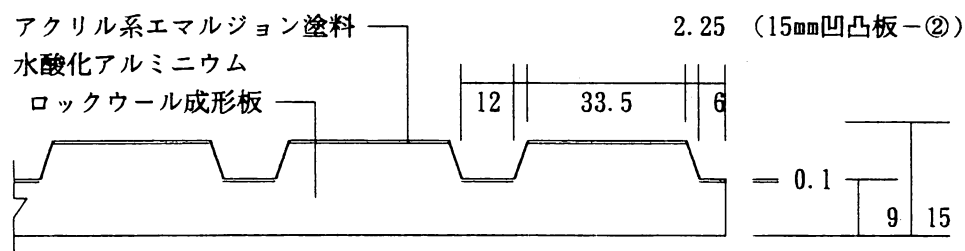
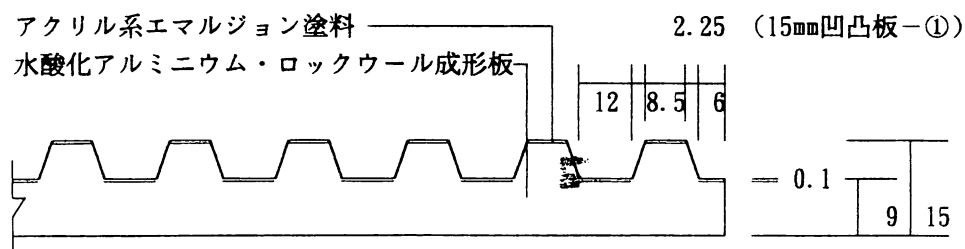
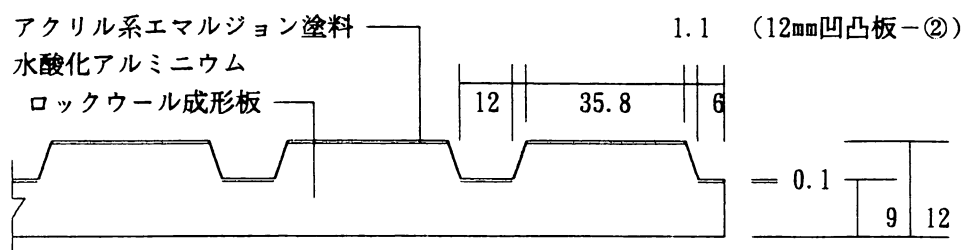
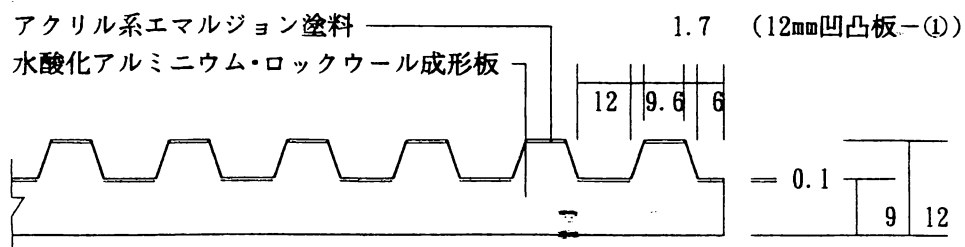
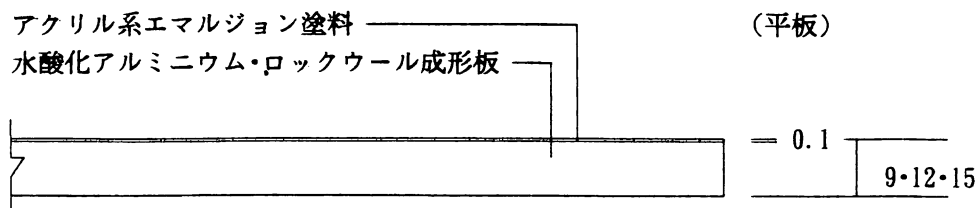
水酸化アルミニウム.....15.0

クレー.....10.0

結合剤(でんぷん系・メラミン系).....4.8

サイズ剤(ワックス系).....0.2
- 890-8325

④ 断面図



耐火四一六号

6. 施工仕様

① 下地

—壁—

a) コンクリート下地

- ・コンクリートの表面のバリ・段違い・不陸等の手直し、はく離剤や汚れをワイヤブラシで取り除く。
- ・床、壁、天井に墨出しを行う。

b) 軽量鉄骨下地

- ・Wスタッドを300～450間隔で取り付け、胴縁は、C-25、38チャンネルを使用し、スタッドにあらかじめ打ち抜かれた穴に差し込み、スペーサーで固定する。

-天井-

- ・Cチャンネルは900mm間隔に吊りボルトに取り付け、これと直行させてMバーW、MバーSを364mm間隔に組む。
- ・9mm又は12mm厚さの耐水せつこうボード又は、けい酸カルシウム板をMバーWにタッピングビスを用いて取り付ける。

② 取り付け

-壁-

a) コンクリート直貼りの場合

- ・コンクリート面には、せつこう系の接着剤を使用する。
- ・せつこう系接着剤の場合は使用量3～4kg/m²をダンゴ状に塗布し、ボード周辺部は、150～200mmピッチで、中央部は200～300mmピッチでボード周辺部一杯に接着剤が当たるように塗布する。
- ・ボード施工後は、接着剤が硬化するまでは絶対に動かさない。

b) 小ねじ止めの場合

- ・軽量鉄骨下地には、小ねじで止める。間隔は、100～150mmとする。
- ・タイル貼り仕上げの下地の場合は、接着剤を併用することがある。

-天井-

耐水せつこうボード又は、けい酸カルシウム板捨て貼り下地に、接着剤とステーブル併用で、取り付ける。

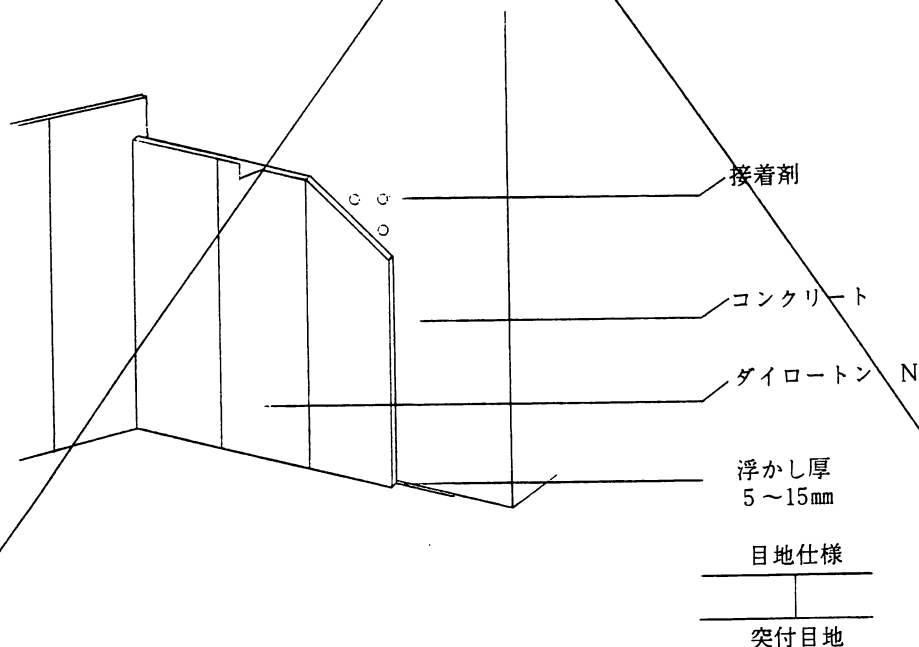
③ 目地

目地は突き付けとし、天井の場合、下地の目地と、ダイロートン Nの目地は、50mm以上離すこと。

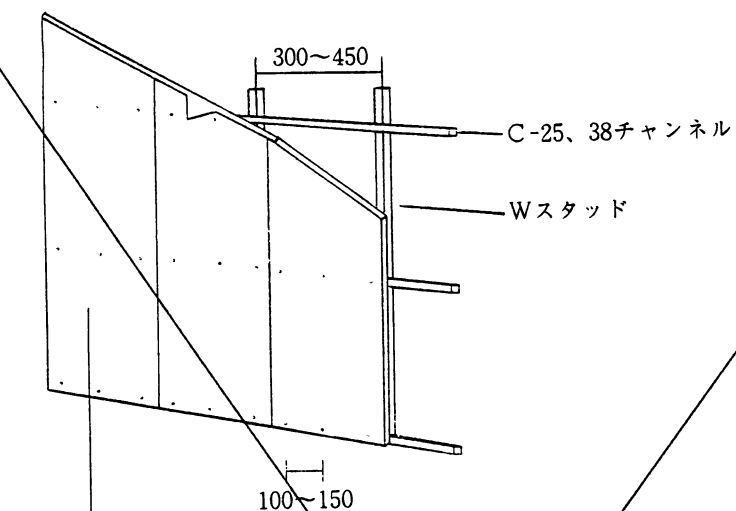
7. 標準施工図 (単位 mm)

(1) 壁

a) コンクリート下地の場合

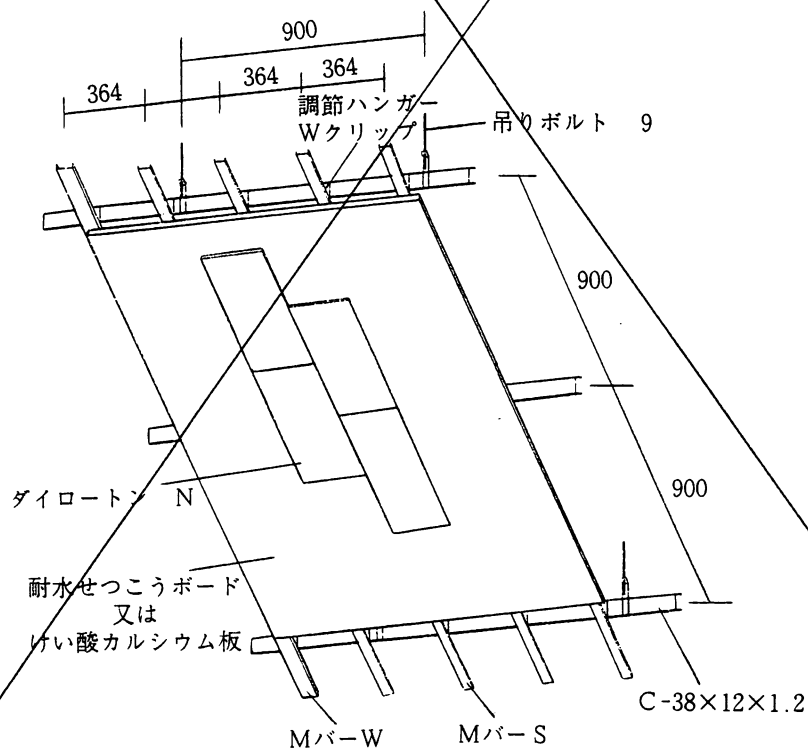


b) 軽鉄下地の場合



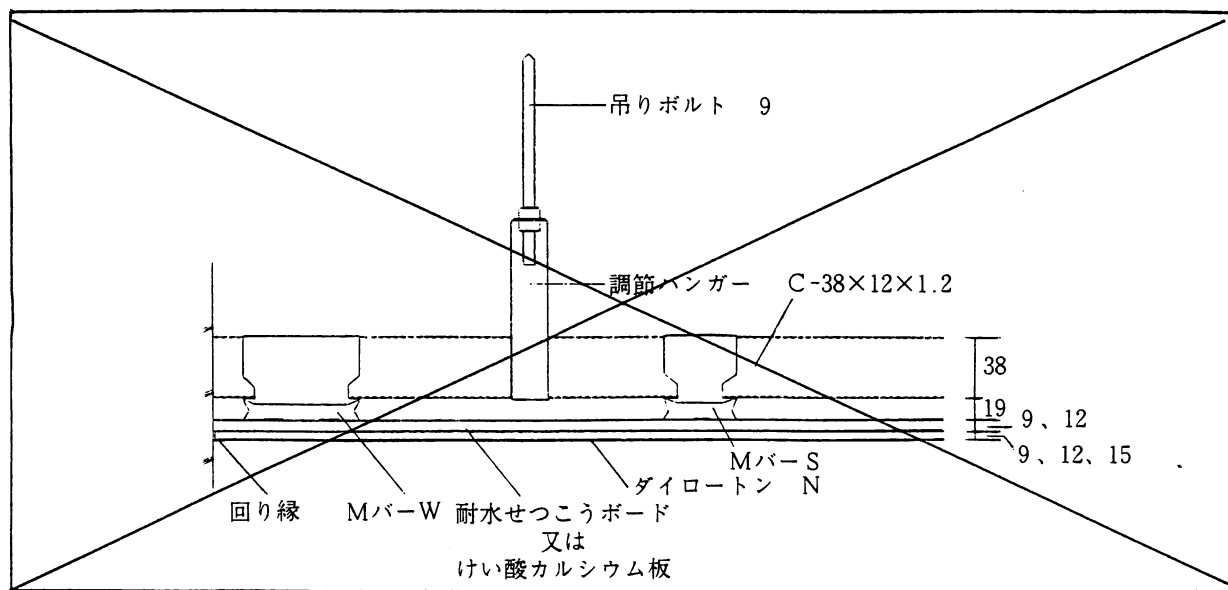
目地仕様
突付目地

(2) 天井



目地仕様
突付目地

耐火四二六号



8. 留意事項

- ・目地のすき、段違いが発生しないように注意すること。
- ・切断はボードカッターを用いて行う。

9. 施工管理

施工は大建工業(株)が責任をもつて「標準施工技術指導書」及び「検査要領書」に基づき施工者を指導する。

10. 表示及び報告

- ① 製品及びその包装に右の表示マークを印刷、貼付、押印その他の方法で表示する。
- ② 現場施工後の防火材料の表示については、各室またはこれに準ずる用途上の区分ごとに、少なくとも2カ所以上に表示マークを貼付する。
- ③ 毎年度、本製品の生産実績・販売実績(又は使用実績)・品質管理の状況等を当該年度終了後1カ月以内(4月1日～4月30日)に建設大臣に報告する。

建設大臣認定	4 cm
不燃(個) 第11852号	
不燃材料	
水酸化アルミニウム・ロックウール成形板(化粧) (ダイロートン N)	
大建工業株式会社	
4 cm	

耐火四一六号